



こうふ消防広場



毎日暑いですが、皆さん熱中症にくれぐれも気をつけてください！！

さて、『こうふ消防広場』4回目の内容は、4月5日に消防学校へ入校した新人消防官が学校生活の半分を過ぎた現在の様子をお伝えします。消防学校の生活は、朝の体操・ランニングから一日が始まります。そして、消防関係の法律から救急、予防など基本的な知識を座学で、屋外では消防車の取り扱い、放水訓練など現場に対応するために各種訓練を行ってきました。7月10日には消防学校のカリキュラムで、甲斐市にある甲府西消防署の訓練場で救助訓練研修がおこなわれました。気温が38度まで上がる灼熱の訓練場で、塔と塔の間に張られたロープを懸命に握り、助けを求める人が目の前に居る！！と自分を追い込み、体力の限界までロープを渡る姿に気迫と、入校式の時より、消防官としてたくましさを感じました。

消防学校生活もあと半分！辛い訓練を乗り越えて大きく成長するのだ！！頑張れ！！新人消防官！！！！

甲府地区消防本部 予防課 査察指導・広報係



突撃！新人消防官インタビュー



- なぜ消防官になったのですか？
答え：人の役に立てる仕事だからです。
- 消防学校生活はどうですか？
答え：辛い事もあるけれど、楽しい事もあります。
- どんな消防官を目指しますか？
答え：少しでも人の役に立てる消防官になってたくさんの人を救いたいです。



- なぜ消防官になったのですか？
答え：父親の影響もあり、人の役に立てる仕事をしたかったからです。
- 消防学校生活はどうですか？
答え：ゼロからのスタートですが、早く現場に行けるように頑張ります。
- どんな消防官を目指しますか？
答え：皆さんから頼られる消防官になります。